

## 2022年度決算特別委員会総括質問

2023年10月4日

共産党議員団 福島宏子

### 1. 白金4丁目（旧裁判所住宅）の土地の活用について

白金の丘学園東側（旧裁判所住宅）の土地は、学校と一体的な活用を考えたとしても、幸福の科学のものにしないためにも、港区が取得の方針を持つこと。

（区長答弁）本国有地の取得を含め区の行政課題の解決に向けた活用の方針について、国と調整を進めていく。

### 2. 区民が住むビルに防災チェアを支給することについて

高い固定資産税を払うために、やむなく自宅をビルに建て替えて、最上階に住む区民にも防災チェアを支給すること。

（区長答弁）調査は、基本的には所有者等の責任において設置すべきものと考えている。

### 3. 区有施設に給水スポットを設置することについて

今、給水スタンドメーカーと協定を結び、施設に設置する自治体が増えている。区施設に給水スタンドを設置すること。

（区長答弁）設置に適した区有施設や設置可能な場所等を検討していく。

### 4. コロナの支援の継続について

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない。コロナ治療薬の自己負担の導入を中止し、公費負担による全額負担を継続すること。

（区長答弁）新型コロナウイルス感染症治療薬の医療費について、国の動向を注視し、引き続き、発熱など体調不良時の対応やワクチン接種に関する情報を区ホームページ等により発信し、区民が安心して療養できるよう取り組んでいく。

### 5. 子どものインフルエンザ予防接種を無料にすることについて

子どもの予防接種を全額公費負担とするよう求めた。「自己負担額が無料になるように助成額を決定している」との答弁だが、実際、3,000 円の助成額では受けられない医療機関がほとんどだ。

区内でどれほどの医療機関が 3,000 円で摂取できるのか？裏付けを明らかにすべきだ。

（区長答弁）接種費用については、医療機関ごとに自由に価格設定が行われていることや、価格の変動を考慮し、実態の把握に努める。

## 6. インボイスについて

岸田政権は1日、消費税のインボイス制度の中止を求める世論が急速に広がっているにもかかわらず、一切耳を傾けることなく実施を強行した。インボイス制度を考えるフリーランスの会が呼びかけたオンライン署名は、9月30日現在、54万人超だ。私たちも廃止を求める人たちと力を合わせて、消費税を5%に引き下げることやインボイスの廃止を求めて頑張る決意だ。

- ① 適格請求書発行事業者でない者（免税事業者等）を入札の参加資格から排除しないこと。
- ② シルバー人材センターはインボイスで負担が増えることになる。財政的支援を含めて、支援を強化すること。

### （区長答弁）

- ① 免税事業者についても入札参加資格を認めている。
- ② センターでは、会員の配分金に影響を生じさせないように、契約に係る事務費を引き上げた。

区は、事務費を引き上げた後も民間企業に継続して発注してもらえるよう、センターの活動や受注可能な業務等を周知していく。

また、区としても、引き続き、指定管理施設の再委託を含め、高齢者にふさわしい業務を優先的に発注するなど、積極的にセンターを支援していく。

## 7. 保育園の一時保育への支援の拡大について

一時保育の要望が高まる中、区は余裕活用型一時保育を拡大した。定員割れで運営が厳しい中、新たに今年度から私立15園が実施している。利用者側にはうれしい施策である反面、保育士にもクラスの内園児にも負担がかかる。実施園の実態を把握し、必要な支援の拡大をすること。

（区長答弁）実施に当たっては、現場の声を丁寧に聞きながら、事業を推進していく。

## 8. タクシーが拾えない高齢者の移動手段の支援について

山口県長門市では、自治体がいくつかのタクシー会社と提携して、地区ごとに予約すれば自宅近辺で乗ることが出来る、「のろっちゃん」というデマンド交通が喜ばれている。

- ① これらを参考に交通不便地域と言われている白金や白金台の地域で、デマンド交通を早急に検討すること。
- ② 旗のようなものを掲げれば優先してタクシーが止まってくれる、「タクシーフラッグ」のような仕組みを事業者と提携して進めること。

## (区長答弁)

- ① 白金・白金台地域を含めた高輪地区における新たな交通手段として、JR東日本及びKDDIと試験導入に向け、協議を進めている。
- ② 高齢者の方がよりタクシーを利用できるように、便利な仕組みを活用できるような案内をしていく。

## 9. ベンチのあるまちづくりについて

高齢者が増えている中、買い物途中で「一休み」するのにベンチは必需品だ。バリアフリー基本構想でも「坂道や歩道に手すりやベンチを設置」という方針に基づき、積極的に進めるべきだ。区道は当然だが、国や東京都に設置の協力を要請すること。

(区長答弁) 現在、区には、バス停や公園のベンチを含めて406か所に設置している。

国道や都道のベンチは、バス停などに多く設置されているが、今後、バス停以外の歩道の幅員が広いスペースに設置するよう要請していく。

## 10. 臨海斎場の増設計画を急ぐことについて

2018年7月に報告された資料を見ると、拡充計画はあるが、6基増設されるのは2030年度だから、今の火葬炉不足には対応できない。計画の前倒しを進めるべきだ。

(区長答弁) 将来の火葬需要に対応するため、平成30年度に「臨海斎場施設整備基本方針」を定め、火葬炉を現在の10基から6基増設し、令和12年度から供用を開始することとしている。基本方針では、火葬需要や、近隣斎場の施設整備状況等に関する調査を、今年度実施している。今後は、この調査結果を踏まえ、火葬炉の増設数や供用開始時期等について、臨海部広域斎場組合や組織区である品川区、目黒区、大田区、世田谷区と協議していく。

## 11. 神宮外苑再開発を見直すことについて

ロッシェル・カップ氏らが呼びかけた「再開発の見直しを求める」オンライン署名が22万4千人以上寄せられ、25日文科大臣に提出、要請した。

イコモス本部が「ヘリテージ・アラート」の発出について、神宮外苑を守ろうと呼びかけている。

多くの著名人が反対を表明、反響を呼んでいる。今まで情報が十分に公開されず、国民が知らない中ですすめられてきたことに問題がある。

- ① 事業者は一度立ち止まって、この間反対運動をしてきた人たちを含め、多くの人の意見を聞くべきだ。事業者にさらなる説明会の開催を要請すること。

- ② イチョウ並木のイチョウ4本が枯死の危険がある。万全の対策をするように、明治神宮に要請すること。

**(区長答弁)**

- ① より多くの方々に正しい情報が届くよう、更なる説明会の開催や情報発信に努めることを、先月25日に、事業者に対し文書で要請した。
- ② 事業者からは、落葉時期が早い樹木に対しては、樹木医等とも相談の上で、土壌改良や肥料の散布などの措置を実施していると聞いている。今後も、いちょう並木を適切に保全するよう、事業者を指導していく。

## 1 2. 学校給食の無償化の対象を拡大することについて

新聞報道によると、特別支援学校への支給にとどまらず、中野区と墨田区は、国立、都立、私立、インターナショナルスクールなど、小中学校相当の子どもはどこに通っていても基本的に全員無償化する予定とのこと。「就学先によって差をつけるべきではない」と判断したとのことだ。

児童・生徒とその家族は、港区に住み、生活し、税金を納めている区民だ。先進区にない、特別支援学校、国立、私立、インターナショナルスクールなど、小中学校相当の子どもは、どこに通っていても全員支援すべきだ。

**(教育長答弁)** 私立学校等に在籍する児童・生徒に対する負担軽減策については、それぞれに課題を整理し、子どもへの総合的な支援の在り方の中で、検討していく。

## 1 3. 芝浦小学校の火災報知機について

9月19日午前2時40分ごろ、火災警報器がけたたましく鳴り続け、近隣の住民は真夜中にたたき起こされた。原因が明らかになるまでの間、夜間警備員を常駐させること。

**(教育長答弁)** 夜間警備員の常駐は予定していないが、原因の究明を行うとともに、速やかに交換する。

## 1 4. 海外への修学旅行について

教育委員会では、2022年6月から、修学旅行は海外での実施の検討を始めていたことが、提出された資料で明らかになった。9月1日に区長の記者会見で発表され、ネットで拡散され、初めて保護者が知ることになった。予算も提案されていないのに、9月5日には、教育長名で「令和6年度海外修学旅行の実施について」との文書が保護者に配られた。アンケートをやっているが、実施することが大前提の内容だ。

- ① 一度、立ち止まり、生徒、保護者、関係者の意見をよく聞いたうえで、方向を決め

ていく、民主主義の基本に立ち戻るべきだ。

② 実施することにしてもクリアすべき課題が多々ある。パスポートの費用やキャリアバックのレンタル料金は、教育委員会が負担すること。特別支援学級の生徒に保護者が同伴せざるを得ない場合、費用は教育委員会が負担する等々、誰もが納得できる対策を検討すること。

#### (教育長答弁)

① 区立中学校2年生の生徒及び保護者に対して、アンケート調査を実施し、来年度の実施に向けて期待することや心配することを聞いている。

今後、海外修学旅行の実施が決定した際には、これまで寄せられた様々な意見を踏まえ、生徒にとって安全・安心な海外修学旅行となるよう取り組んでいく。

② パスポート取得費用は、取得状況が生徒一人ひとりで異なることから保護者に負担してもらおう予定だが、パスポート取得費用を含めた海外修学旅行の保護者負担額は、従来の国内修学旅行の保護者負担額と同額とする予定だ。公費負担すべき項目は、教育委員会で整理・検討した上で、1月に開催を予定する保護者会で説明を行う予定だ。

## 15. その他

10月4日から施設予約システムが新しくなる。予約日の7日前までにキャンセルしない場合は、30日間予約が出来なくなってしまう予約制限がかけられることになった。このようなペナルティはこれまでなかった。いきいきプラザを利用する高齢者などは特にギリギリになって体調不良などでキャンセルせざるを得ない場合もある。一番身近な利用者である区民の声をよく聞いて柔軟に対応すること。直接利用者に説明し、広く区民に周知すること。要望としてお願いしておく。

最後にもう一つ要望だ。今まで町会の掲示板を設置してくれた家が建て替えや開発で、設置場所がなくなっている。町会の掲示板とはいえ、大半が港区からのお知らせだ。町会の掲示板を区道にも設置できるように、検討をお願いする。